CASIO

MPC-701　リカバリーマニュアル



カシオ計算機株式会社

はじめに

本マニュアルは、CASSIOPEIA FIVA MPC-701 リカバリーCD-ROM を使用したシステムの再構築に関するものです。
（以下、「CASSIOPEIA FIVA MPC-701」を単に「FIVA」、「システムの再構築」を「リカバリー」と記載します。）

本資料では、以下の内容が記載されています。
・１章：リカバリーの前準備
・２章：リカバリーの概要
・３章：リカバリー
・４章：FIVA 固有データのインストール
・５章：BIOS の初期化

尚、リカバリーの手順については、
１．未使用（新品）、もしくは完全フォーマットしても良い。
２．カシオ出荷時と近い状態のシステム構成を構築。
を前程とした内容となっています。

※記載した手順でリカバリーを行う事で、カシオ出荷時に近い状態に戻す事ができます。
（カシオ出荷時と完全に同じ内容にする事はできません。あらかじめご了承ください。）
※ドライバについては推奨のインストール手順を記載しています。記載した順番でインストールを行う事で、続く作業が簡単になります。

目次

1.　リカバリーの前準備

リカバリー実施前に、以下の準備と設定が必要になります。

デバイスおよび CD-ROM の準備

1. CASSIOPEIA FIVA MPC-701 リカバリーCD-ROM
2. Microsoft Windows2000 SP2 CD-ROM
3. CD-ROM ドライブ（MPC-142CDD2）
4. USB キーボード
5. USB マウス（必須ではありませんが、用意していただくと便利になります。）

BIOS の設定

1. BIOS 設定：PCMCIA BOOT = Enable

2.　リカバリーの概要

リカバリー作業の概略手順を示します。

手順	概要	セットアップ元 CD-ROM
1	HD の基礎構築（パーティション生成，フォーマット，FIVA 固有ドライバの HD へのコピー<オプション>）	リカバリーCD-ROM
2	ユーザーバックアップシステムのインストール	リカバリーCD-ROM
3	Windows2000 のインストール	Microsoft Windows2000 CD-ROM
4	FIVA 固有ドライバのインストール	リカバリーCD-ROM（もしくは HD）
5	FIVA 用アプリケーションのインストール	リカバリーCD-ROM

※上記手順の４、５は Administrator 権限で行ってください。

3. リカバリー

3.1. HDの基礎構築およびユーザーバックアップシステムのインストール

本章は、カシオ出荷時と同じパーティション構成にする場合に必要な処理です。HDのパーティション構成をカシオ出荷時とは異なる構成にする場合は、本章の処理は不要となります。その場合、パーティションの生成やフォーマットなどは、各々別手段にて行う必要があります。

１．リカバリーCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、FIVA本体にCD-ROMドライブを接続します。
２．FIVAの電源を入れます。リカバリーCD-ROMから起動し、リカバリーのメインメニューが表示されます。

```
========================  リカバリ　メインメニュー  =========================
  (1) ハードディスクの初期化とユーザーバックアッププログラムのインストール
  (2) 保守領域へのユーザーバックアッププログラムのインストール

  (9) (1)(2)の解説
  (0) 終了（電源断）
=============================================================================
```

３．「(1) ハードディスクの初期化と…」を選択します。
HDの初期化が開始される事を警告するメッセージが表示されます。

```
数字の「1」を入力すると、ハードディスクの初期化とユーザーバックアッププログ
ラムの再インストールを開始します。（ハードディスクの内容はすべて失われます。）
数字の「0」を入力すると、何も処理を行わずに終了します。
トールを開始します。

よろしいですか　[1:はい　0:いいえ]
```

「1:はい」を選択します。
※パーティション構成がカシオ出荷時と同じ場合は、「(2) 保守領域へのユーザー…」処理が可能です。

４．ハードディスクの初期化（パーティションの確保とフォーマット）が開始されます。

```
=============================================================================
                        ハードディスクを初期化しています。
=============================================================================

少々お待ちください。
```

５．ユーザーバックアップシステムのインストールが開始されます。

```
=============================================================================
                        リカバリ環境を作成しています。
=============================================================================

少々お待ちください。
```

６．FIVA 固有ドライバを HD のユーザー領域（Ｄドライブ）にコピーします。

```
引き続き、FIVA 専用ドライバをユーザー領域（Ｄドライブ）にコピーすることが
できます。「はい」を選択すると自動的に再起動し、コピーが開始されます。

FIVA 専用ドライバのコピーを行いますか？　[1:はい　0:いいえ]
```

「1:はい」を選択します。

※「6.FIVA 固有ドライバを…」はスキップする事が可能ですが、この場面で HD にドライバをコピーしておくと、後に他ドライバをインストールする場面で、リカバリーCD-ROM を使用せずにインストールできます。ドライバを HD にコピーした場合は、ドライバのインストールが完了するまで、ユーザー領域をクリア（フォーマット）しないで下さい。

自動的に再起動し、ドライバのコピーが開始されます。

```
==============================================================================
        FIVA 専用ドライバをユーザー領域（Ｄドライブ）にコピーしています。
==============================================================================

少々お待ちください。
```

７．Windows2000 をインストールします。

```
==============================================================================
                      ハードディスクの構築が終了しました。
==============================================================================
引き続き、Windows2000 をインストールすることができます。

Windows2000 のインストールを行いますか？　[1:はい　0:いいえ]
```

「1:はい」を選択します。

```
リカバリ CD-ROM をドライブより取りだし、「Microsoft Windows 2000」と書かれた
CD-ROM をドライブにセットしてください。セットが完了しましたら、任意のキーを
押下してください。Windows2000 のインストールが開始されます。
```

CD-ROM ドライブからリカバリーCD-ROM を取り出し、Windows2000 CD-ROM をセットします。

以上で、リカバリーCD-ROM による「HD の基礎構築およびユーザーバックアップシステムのインストール」は完了です。[Return]キーを押下すると、引き続いて Windows2000 のインストールが開始されます。(次章を参照。)

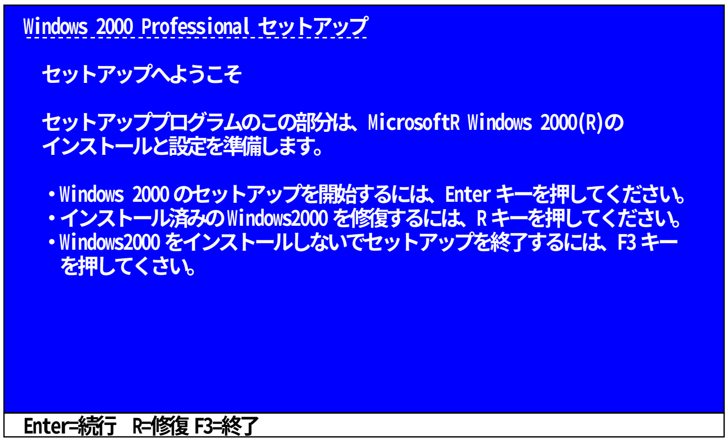
3.2. Windows2000 のインストール

１． Windows2000 CD-ROM からの起動直後に、「Hit any key to Boot CD …」と画面に表示されるので、任意のキーを押下します。

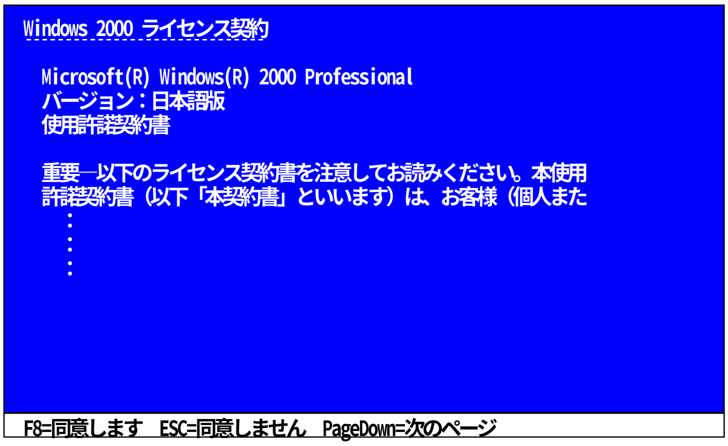


Windows2000 セットアップ・ウィザードが開始されます。以下、画面の指示に従って操作していきます。
※ここからの操作には、USB キーボードが必要となります。

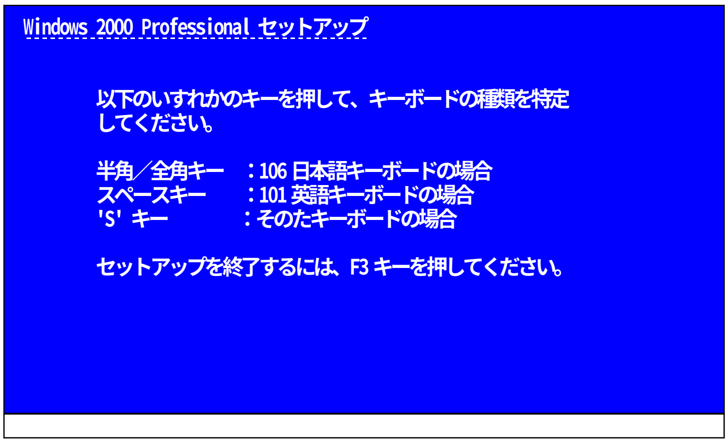




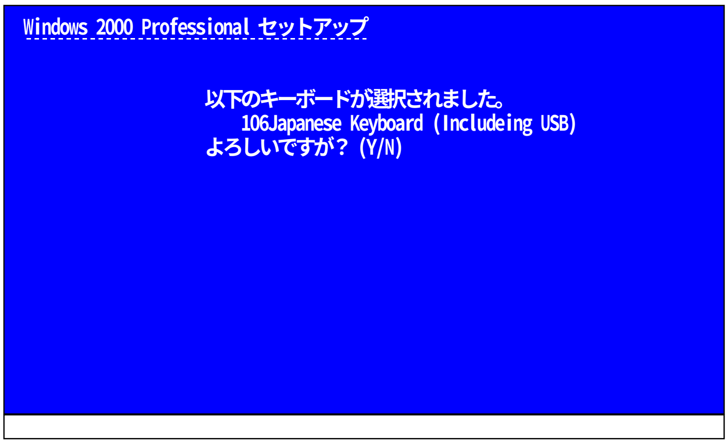
[Enter]キーを押します。



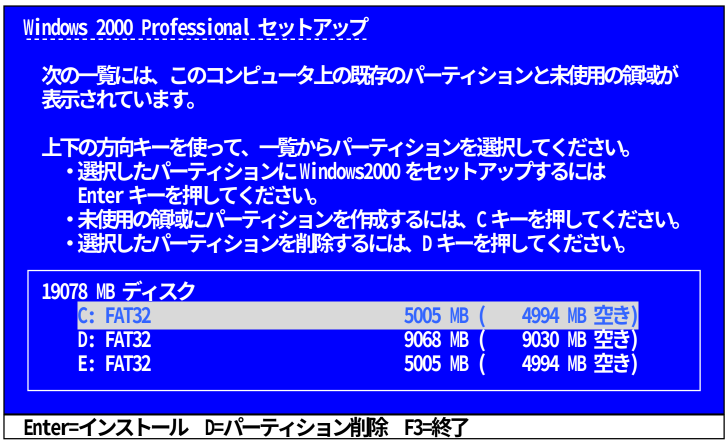
[F8]キーを押します。



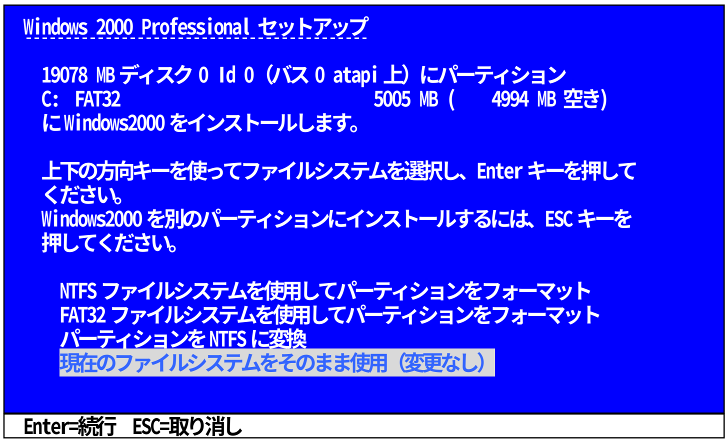
USB キーボードの[半/全]キーを押します。



[Y]キーを押します。

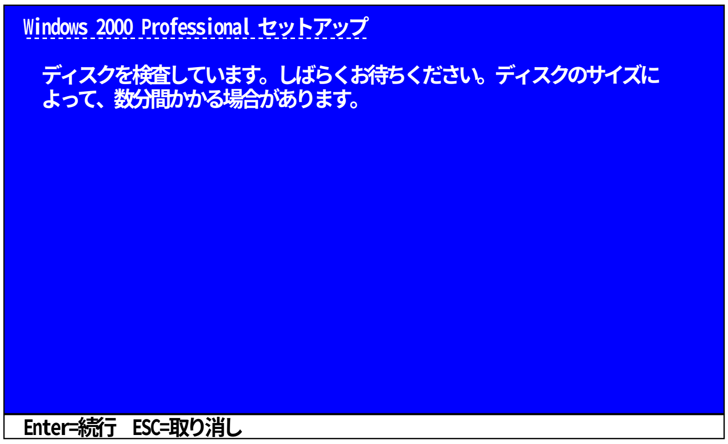


「C:FAT32 …」を選択し[Enter]キーを押します。

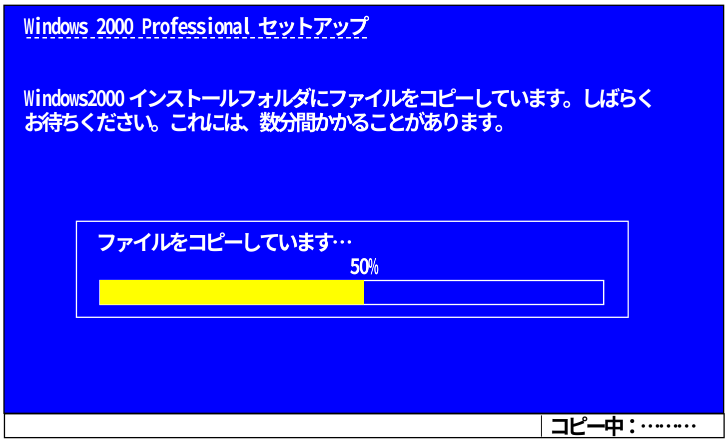


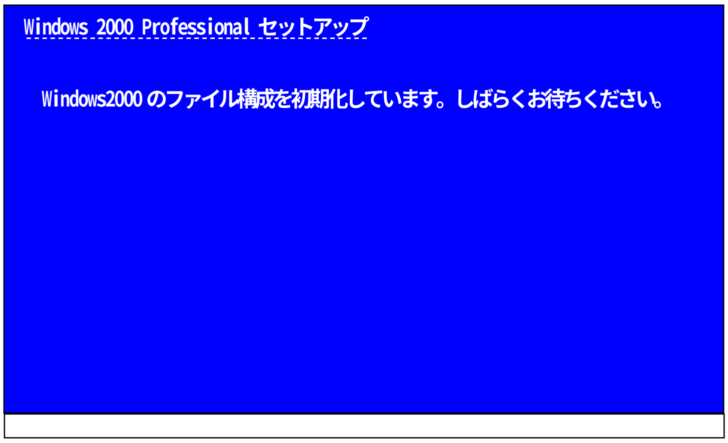
「現在の…」を選択し[Enter]キーを押します。

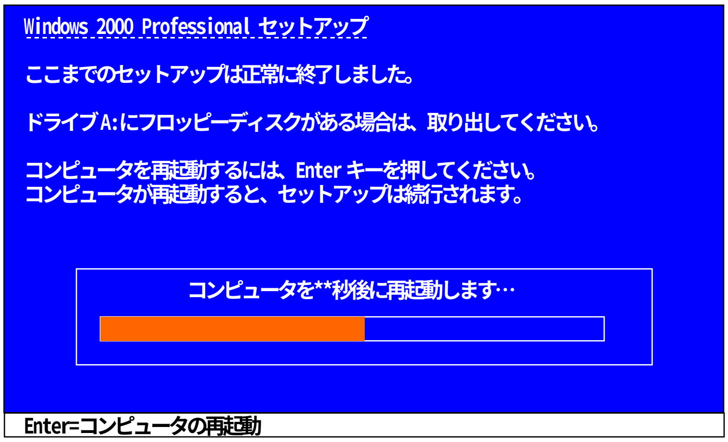
※「現在のファイル…」の選択は推奨であり、必須ではありません。



[Enter]キーを押します。







[Enter]キーを押します。

２．再起動すると、各情報のセットアップが開始されます。



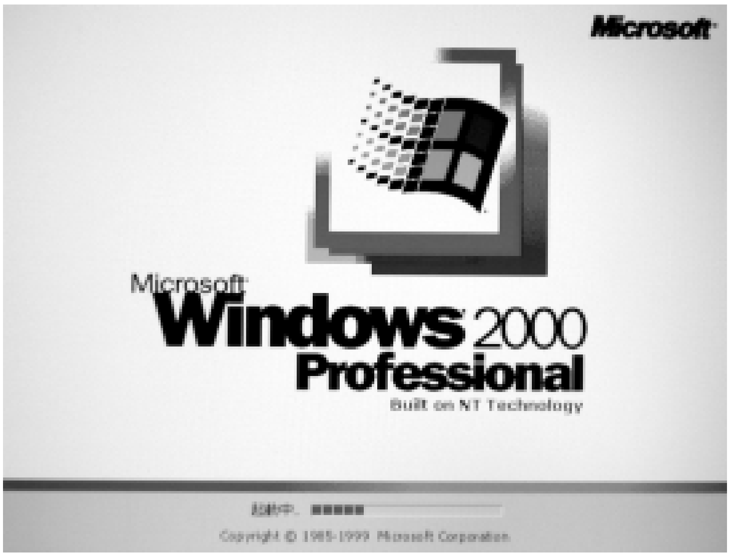
上記画面に引き続き

- デバイスのインストール
- 地域と言語
- ソフトウェアの個人用設定
- プロダクトキー
- コンピュータ名と Administrator のパスワード
- 日付と時刻の設定

⋮

と設定画面が表示されていきます。

３．各情報の設定が最後まで完了すると Windows2000 のセットアップは完了です。
再び再起動して Windows2000 が起動します。



4. FIVA 固有データのインストール

4.1. FIVA 固有ドライバのインストール

Windows2000 のセットアップに引き続き、FIVA 固有のドライバをインストールします。
以下、推奨するドライバのインストール順番で記載しております。記載した順番でインストールを行う事で後に続く作業が簡単になります。

※ドライバはリカバリーCD-ROM に搭載されていますが、「3-1 HD 基礎構築」-「6.FIVA 固有ドライバを…」で“はい”を選択した場合は HD にも存在します。HD にドライバが存在する場合は、こちらのデータを使用する事でインストール効率が高まります。

インストール１：タッチパネルドライバのインストール

(1) ドライバのインストール
タッチパネルドライバはインストーラが存在しません。[デバイスマネージャ]を起動し、手動でインストールを実行して下さい。インストール方法の詳細については、リカバリーCD-ROM に添付されているタッチパネルドライバ Readme.txt を参照して下さい。

(2) 右クリックツールの登録
タップで右クリックが出来るように設定します。
[コントロールパネル]-[タッチパネル]-[タッチ動作]タブ-[右クリック機能]を ON にします。

(3) 座標データ転送速度の設定
座標データ転送速度を変更します。
[コントロールパネル]-[タッチパネル]-[タッチ動作]タブ-[座標データの転送速度]を 5→2 にします。

※上記(1)(2)の処理完了後は、操作全般が画面上で行えるようになります。

インストール２：ビデオドライバのインストール

ビデオドライバはインストーラが存在します。Setup.exe を起動し、セットアップウィザードの指示に従ってインストールを実行して下さい。再起動後、「画面のプロパティ」で
［画面の色］ = HighColor 16bit ／ ［画面の情報］ = 800×600
に設定して下さい。

※再起動直後はタップポイントがずれますが、「画面のプロパティ」での設定後は正常になります。

インストール３：任意のドライバのインストール

以後、特に推奨するドライバのインストール順番は存在しません。

※ドライバによってはインストール後に再起動を必要とするものがあります。この様なドライバの場合、通常「直ぐに再起動する」「後で再起動する」の選択画面になりますが、「直ぐに再起動する」を選択する様にして下さい。インストールの際に一時ファイルが生成されますが、これらが他のドライバもしくはアプリケーションのインストールに影響を及ぼす可能性があります。

※搭載されているドライバについては、リカバリーCD-ROM のルートディレクトリに添付されている Readme.txt を参照して下さい。また、各ドライバのディレクトリ下にも Readme.txt が添付されています。

ドライバ一覧

ドライバ	ディレクトリ名	インストール形態	実行,inf ファイル名
オーディオ	AUDIO	インストーラー	Setup.exe
バーコードリーダ	BCR	手動	CFLaser.inf
本体テンキー	CasKeybd	インストーラー	Setup.exe
CD-ROM	CD_ROM	手動	UJDB130C.INF
DVD-ROM	DVD_ROM	手動	DU016W2K.INF、DU032W2K.INF
赤外線	FIR	インストーラー	Setup.exe
Mini-IDE	IDE	インストーラー	Setup.exe
LAN	LAN	インストーラー	Setup.exe
モデム	MODEM	インストーラー	Setup.exe
PENTAX 製プリンタ	PB300	手動	ファイルを解凍後 PocketBook300.inf
PCMCIA	PCMCIA	手動	TICB2K.INF
CASIO 製プリンタ	PRINTER	—	—
・CP 8000	-CP_E8000	手動	CP80NT5.INF
・N4 614	-N4_614	手動	CPS4NT5.INF
・N5	-N5	手動	CPN5NT5.INF
タッチパネル	TP	手動	FIDMOUS.INF
USB2.0	USB20	手動	USB2.INF
ビデオ	VIDEO	インストーラー	Setup.exe

「インストール形態」が“手動”の場合、以下の方法でドライバのインストールを行ってください。

(1) 手動で[デバイスマネージャ]を起動し、「ドライバの更新」を実行し、該当の*.inf ファイルを指定する。

(2) デバイスを初めて装着した場合は自動認識（Plug&Play）されるので、該当の*.inf ファイルを指定する。

「インストール形態」が“インストーラー”の場合、Setup.exe をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールして下さい。

4.2. FIVA 用アプリケーションのインストール

FIVA 固有ドライバのインストールに引き続き、FIVA 固有のアプリケーションをインストールします。
特に推奨するアプリケーションのインストール順番は存在しません。

アプリケーション一覧

アプリケーション	ディレクトリ名	インストール形態	実行ファイル名
モバイルコクピットⅢ	MC3	インストーラー	Setup.exe
バッテリー情報ツール	BattInfo	インストーラー	Setup.exe
手書きツール	PenTool	インストーラー	Setup.exe
状態レポートツール	Report	インストーラー	Setup.exe
180 度回転ツール	Rotate	インストーラー	Setup.exe
HD バージョンツール	HDVer	インストーラー	Setup.exe
右クリックアイコンツール	RBIcon	インストーラー	RBIcon.exe
パーティション変更ツール	RegChg	インストーラー	RegChg2.exe
壁紙	WallPP	インストーラー	Setup.exe
アクロバットリーダー5.0	AcroRead	インストーラー	ar500jpn.exe
Microsoft IE5.5 SP1	IE55SP1	インストーラー	Setup.exe
Microsoft ｾｷｭﾘﾃｨｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ	W2K_SRP1	インストーラー	W2KSP2_1.exe
Microsoft ﾎｯﾄﾌｨｯｸｽ	MSHotFix	インストーラー	Q25279_1.exe

※アプリケーションを再インストールする場合は、インストールするアプリケーションを終了してから行ってください。

<注意>　ドライバおよびアプリケーションのインストールについて

リカバリーCD-ROM に添付されているドライバおよびアプリケーションのインストールにおいて、インストールシールドを使用してインストールが行われる（setup.exe 等の実行）場合、既にインストールが完了（インストールされているバージョンに無関係）していると、インストールではなくアンインストールを実行するものがあります。　これは、上書きインストールによるデータの更新ミスを回避するための動作です。
アンインストールを回避するには、以下の処理で対応してください。

(1) アンインストール前にメッセージが表示されますので、ここで「キャンセル」を選択してインストール処理を中止する。
(2) 続いて、インストール前に手動でドライバもしくはソフトウェアをアンインストールする。

※アンインストールを実行してしまっても、再度インストールを実行すれば、問題なく更新を行うことができます。

5.　BIOS の初期化

リカバリー実施前に BIOS 設定を PCMCIA BOOT = Enable としましたのでこれを元に戻します。

BIOS 設定：PCMCIA BOOT = Disable

※念のため、BIOS 設定にて“Load Setup Defaults”を実行する事をお奨め致します。

リカバリーマニュアル

最終ページ